

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		上江洲由生	所 属		観光産業科学部 産業経営学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.35	①簿記の演習用教材開発を行い、講義で活用する。 ②卒業論文の指導を行い製本する。③経営分析の指導を行い分析報告書を製本する。④『簿記の技法とシステム』(第3版)の用語の改訂・内容の追記等を行い2刷りを発行する。			0.35	①簿記の演習用教材開発を行い、講義で活用した。②卒業論文の指導を行い製本した。③経営分析の指導を行い分析報告書を製本した。④『簿記の技法とシステム』(第3版)の用語の改訂・内容の追記等については次年度行うことにした。		
研究	0.20	①研究成果を経済研究へ投稿する。 ②今年度新たに科研費を申請する。(基礎科学研究)			0.20	①研究成果を経済研究第87号へ投稿した。 ②科研費の申請は来年度の持ち越した。		
社会貢献	0.20	①沖縄県企業局経営評価委員会委員長として経営評価を行う。 ②沖縄県生産性本部理事として予算・決算・活動計画を審議する。 ③沖縄国税事務所土地評価審議会の会長として土地評価を審議する。④税務大学校沖縄研修所での研修を指導する。			0.20	①沖縄県企業局経営評価委員会委員長として職務を遂行した。②沖縄県生産性本部理事として職務を遂行した。③沖縄国税事務所土地評価審議会の会長として職務を遂行した。④税務大学校沖縄研修所での研修を指導した。		
管理運営	0.05	①評価センター委員会委員として職務を遂行する。 ②会計監査人選定委員会委員として職務を遂行する。			0.05	①評価センター委員会委員として職務を遂行した。 ②会計監査人選定委員会委員として職務を遂行した。		
進路指導	0.20	①大学院進学希望者の進路指導を行う。 ②ゼミ生の就職指導を行う。 ③会計専門職希望者の個別指導を行う。			0.20	①大学院進学希望者の進路指導を行った。 ②ゼミ生の就職指導を行った。 ③会計専門職希望者の個別指導を行った。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	牛窪 深		所 属	観光産業科学部	
職 名			職 名	教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定	業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ○中小企業経営論のコンテンツ改善(オリエンテーション資料、講義資料、授業評価シートの改善)と授業実施 ○Introduction to Business Studiesの授業内容と授業方法の見直しと改訂 ○ゼミ生を対象とした日経新聞社「日経新聞読み方講座」の実施と業界・企業分析および報告会の開催 ○キャリア開発演習のコンテンツ改善(オリエンテーション資料、日経新聞読み方講座の授業内容の共同設計・企画・実施:日経メディア・プロモーション、就職活動実践講座の授業内容の共同設計・企画・実施:オーシャン21、授業評価シートの改善) ○FDの実施(教材開発・改善:中小企業経営論[URGCCのモデル授業として]) ○ゼミの学生及び大学院生を対象とした「統計解析勉強会」の実施 	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ○中小企業経営論の授業内容を一部改訂した。過去4回にわたる授業の成果報告書を作成し、FDを開催した。 ○Introduction to Business Studiesの授業内容は、マネジメントとは何か?、事業の定義、日本型マネジメントの強み、コーチング・マネジメント、以上4種類の授業内容の見直しと配布資料の加除・訂正を施した。 ○「日経新聞」を主たる教材としてゼミの研究を推進した。各学生は、「日経新聞」等の情報を用いて業界・企業・職種分析を行い、3月1日に卒論研究発表会を開催した。 ○キャリア開発演習については、日経メディア・プロモーションとオーシャン21と連携して、授業内容と授業方法の改善を図った。12月14日のポスターセッションには約60名のゲストが集まり、17チームの成果報告会を実施した。 ○9月18日に「英語による授業の評価・分析結果」と題するFDを開催した(中小企業経営論)。 ○大学院生には後学期に、ゼミの学生には夏季休暇中に、「統計解析勉強会」を実施した。 	
研究	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ○「学士力養成に係わる今後の大学教育の課題と展望」と題する調査・研究論文(基礎科学研究)の作成と紀要投稿。 	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ○アンケート調査票の集計と統計解析は終了したが、調査研究論文の完成は本年度の4月を予定している。 	
社会貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ○沖縄県生産性本部副会長としての任務遂行 ○沖縄県雇用開発推進機構評議員としての任務遂行 ○独占禁止法政策推進協力会議のアドバイザーとしての任務遂行 	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ○沖縄県生産性本部の理事会と総会に出席し副会長としての任務を果たした。 ○沖縄県雇用開発推進機構の評議委員会は開催されなかった。 ○独占禁止法政策推進協力会議に出席し、アドバイザーとしての任務を果たした。 ○離島フェアの審査委員長として、コーディネートを担当する業者の審査と、出品された商品に対する審査を行った。 	
管理運営	0.50	<ul style="list-style-type: none"> ○第2期中期計画・中期目標の平成25年度版アクションプランの策定 ○8月以降に外部評価(認証評価)受審に向けた書類の作成 ○推薦入試Iによる入学生と一般入試による入学生との比較分析(成績及び単位取得状況、等) ○産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業の推進、運営、管理 ○「全学会議」①教育研究評議会、②部局長等懇談会、③保健委員会、④入学試験管理委員会、⑤教員養成運営協議会、⑥名誉博士審査委員会、⑦全学教員人事委員会、⑧財務委員会、⑨学生表彰選考委員会、⑩環境・施設マネジメント委員会、⑪エコロジカル・キャンパス推進委員会、⑫教員組織等に関する検討委員会。 ○「学部内会議」①教授会、②調整会議、③将来計画委員会(委員長)、④自己評価委員会(委員長)、⑤入学試験委員会、⑥予算委員会。 ○「学外会議」①夜間教育実施大学学部長・第二部主事会議、②沖縄県高等学校長協会情報交換会 	0.50	<ul style="list-style-type: none"> ○平成25年度版アクションプランは計画通りに策定したが、アクションが遅延する傾向にあった。 ○外部評価(認証評価)の自己評価報告書は、3月末迄に原案を完成させ、次期学部長に引き継ぐ予定。 ○新規就業力GP(産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業)を継続的に推進し、平成24年度と25年度の成果報告書を作成し提出した。 ○「全学会議」①教育研究評議会、②部局長等懇談会、③保健委員会、④入学試験管理委員会、⑤教員養成運営協議会、⑥名誉博士審査委員会、⑦全学教員人事委員会、⑧財務委員会、⑨学生表彰選考委員会、⑩環境・施設マネジメント委員会、⑪エコロジカル・キャンパス推進委員会、⑫教員組織等に関する検討委員会、以上の会議・委員会に出席した。 ○「学部内会議」①教授会、②調整会議、③将来計画委員会(委員長)、④自己評価委員会(委員長)、⑤入学試験委員会、⑥予算委員会、以上の会議・委員会に出席した。 ○「学外会議」①夜間教育実施大学学部長・第二部主事会議に出席した。 	
進路指導	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ○ゼミの学生への進路指導相談(コーチングに基づく全員の面談実施) ○指導教員として1年次学生(居間主15名)に対する個別指導 ○進路指導プログラム(自己分析、業界・企業・職種分析、日経新聞の読み方)の改善と開発 ○就職課、就職センターとの連携強化施策実施 ○インターンシップ事前指導の改善(集中講義に変更し授業内容と授業方法の改善をはかる) ○就職・進路決定に関する効果的情報収集の方法を考案・実施 ○卒業後の実態調査を効果的に実施するアイデアの考案(調査票の作成を含む) 	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ○年2回の履修登録期間中に、指導教員として1年次学生(夜間主10名)に対する個別指導を実施した。 ○自己分析と業界・企業・職種分析については、ゼミ生全員に個別指導(1人あたり5回)を行った。5名全員が内定を取得した。 ○就職課、就職センターと連携して、全学部を対象とした日経講座の開催および企業説明会を実施した。 ○担当教員の名嘉先生と協力して、6コマ分の授業内容と授業方法の改善を図った。 ○ゼミ生の進路調査票は全員分、就職センターに提出した。 ○卒業後の実態調査もコンシェルジュシートを活用して、追跡調査が出来ないかを検討中。 	
	0.00		0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠を広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。			<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)						
名 前		大角玉樹		所 属		観光産業科学部 産業経営学科
				職 名		教授
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.20	WebClassを併用したe-learningの高度化を図る。また、産業界ニーズに対応した教育GPと連動して、実務家講師の招聘、実践型講義の開発と試行、及び新設されたベンチャー起業講座の充実を図る。さらに、キャリアガイダンスを取り入れ、共通科目と専門科目の有機的連携を試みる。		0.20	WebClassとstreamingサービスを活用し、反転講義、学生の自主学習を促すシステムと整えた。 実務家講師を多数招聘し、就業力育成対応型の講義を実践した。 実務家講師及び産業界と連携し、ベンチャー起業講座を企画・運営した。 共通科目において、実務家講師と連携し、キャリアビジョンを醸成するとともに、実現のために必要な専門科目の学び方を指導した。	
研究	0.40	科学研究費の申請を行なう。 紀要に論文を一本投稿する。 「就業力」及び「社会人基礎力」を醸成するためのFDに関する研究ノートを作成する。 (特化型研究) 観光とイノベーションの関連についてのフィールドワークを行い、研究組織を編成する。また、亜熱帯島嶼科学を基盤としたイノベーションの生成過程を明らかにするために、内外の研究機関の視察、国際展示会、国際会議の参加を行う。とりわけ、申請された沖縄科学技術大学院大学を中核としたイノベーション・エコ・システムの可能性を探求する。		0.40	科学研究費基盤(C)にテーマ「沖縄の戦略的地域イノベーション～産学官連携のソーシャル・マネジメントの研究～」を申請した。 紀要に「亜熱帯島嶼科学の戦略的展開に向けた予備的考察」を投稿した。 紀要に、就業力・社会人基礎力醸成のFD研究ノート「イノベーション人材育成に向けた産学官ネットワークの可能性」を投稿した。 4月から9月にかけて、ハワイ、アメリカ西海岸・東海岸、ヨーロッパ、北欧、シンガポールを中心に、観光とイノベーションに関わるフィールドワークを行った。また、アメリカ経営学会、産学官連携の国際会議(TripileHelix Conference)に参加し、イノベーションに関する最新の研究動向を把握した。	
社会貢献	0.15	次世代人材育成コンソーシアム研究会委員を務め、産学官民連携による人材育成ネットワークの拡充に努める。 社会起業活動に関わるNPO支援及び人材育成支援を行う。		0.15	次世代人材育成コンソーシアム研究会委員並びに座長を務め、起業家ネットワーク及び人材育成ネットワークの拡充に努めた。 海外ジョブチャレンジ・プログラムの評価委員を務め、今後の事業展開に向けた提言を行った。 社会起業に関わる団体のアドバイザーを務め、実践型インターンシップとの連携を開始した。	
管理運営	0.15	産業界ニーズGP関連事業の企画・提案、各種交渉、実施を担当する。 学習カルテの電子化を推進する。		0.15	産業界ニーズGPに関連して、先進大学・先進団体の調査を行ったほか、アクションラーニング実施要領の企画・制作、シンポジウムの企画・運営・交渉並びに基調対談を担当した。 学習カルテに関しては、学部としての決定を待ったうえで開発を進める。	
進路指導	0.10	社会人、OBの支援を得ながら、キャリア指導を積極的に行い、就職、留学に向けたアドバイスを行なう。また、留学から帰国した学生に対するキャリアガイダンスを充実させる。		0.10	実務家講師、経営者、起業家などを招聘し、学生との意見交換会を実施したほか、人事担当経験者を紹介し、学生個々人のキャリア・プランが実現できるよう努めた。留学から帰国した学生には、県内就職・県外就職の希望を確認したうえで、アドバイザーと共にキャリア・ガイダンスを行った。	
	0.00			0.00		
計	1.00	・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	與那原建		所 属	観光産業科学部 産業経営学科	
職 名	教授				
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定	業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.25	<ul style="list-style-type: none"> ○経営戦略論・競争戦略論の講義資料の作成と受講生の評価をふまえた授業の改善、授業評価アンケートの実施 ○経営学演習Ⅰにおける研究指導(効果的なレジュメの作成およびプレゼンの方法、ゼミ論文のテーマ設定についての指導) ○経営学演習Ⅱにおけるゼミ論文の作成指導 ○大学院における講義提供と修士論文の作成指導 	0.25	<ul style="list-style-type: none"> ○担当科目について新たな内容・事例を盛り込んだ講義資料を作成し、受講生からの授業評価をふまえた授業の改善に取り組んだ(丁寧な板書、PPの活用)。授業評価アンケートも実施した(前・後学期)。 ○演習Ⅰにおける効果的なレジュメの作成およびプレゼンの方法、論文テーマの設定について指導を実施し、その結果、ゼミ学生の成長ぶりを実感することができた。 ○ゼミ論文の作成指導を行い(演習Ⅱ)、ゼミ生全員(9名)が論文を完成させた。 ○大学院において講義を提供(前・後学期)するとともに、担当している院生の修士論文作成を指導を行った。次年度3名の院生が論文提出予定。 	
研究	0.25	<ul style="list-style-type: none"> ○科研費基盤研究(C)の取り組み(フレームワークの構築と事例研究) ○ダイナミック能力論にかかわる研究の深化(追加の資料収集と整理) 	0.25	<ul style="list-style-type: none"> ○科研費基盤研究(C)について研究代表者として研究会を開催し、そこで構築したフレームワークに基づく事例研究を報告した。研究成果は次年度公表予定である。 ○ダイナミック能力論にかかわる資料収集と整理は終了しており、研究成果をまとめて次年度中に公表することになっている。 	
社会貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ○地域産業資源活用事業評価委員会・農商工等連携事業評価委員会(内閣府沖縄総合事務局)委員長としての貢献 ○沖縄県生産性本部理事としての貢献 	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ○地域産業資源活用事業評価委員会・農商工等連携事業評価委員会(内閣府沖縄総合事務局)委員長として委員会を開催し、申請のあった案件の審査を行い、基準を充足したものを認定した。 ○沖縄県生産性本部理事として理事会に出席した。 	
管理運営	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ○産業経営学科長としての貢献(学科会議の開催、入試業務の管理・運営、学科共通予算の管理・運営、等) ○「全学会議」①人文系科目企画小委員会、②情報関係科目企画小委員会。 ○「学部内会議」①教授会、②調整会議、③将来計画委員会、④自己評価委員会、⑤広報委員会、⑥予算委員会、⑦教育委員会 	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ○産業経営学科長として、学科会議の開催、入試業務の管理・運営、学科共通予算の管理・運営、等に携わった。 ○「全学会議」①人文系科目企画小委員会、②情報関係科目企画小委員会、に参加した。 ○「学部内会議」①教授会、②調整会議、③将来計画委員会、④自己評価委員会、⑤広報委員会、⑥予算委員会、⑦教育委員会、に参加した。 	
管理運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ○ゼミ所属学生に対する進路相談への対応と模擬面接の実施 ○ゼミ卒業生との交流会を通じた進路指導(進路意識の高揚) 	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ○ゼミ所属学生に対する進路相談への対応と模擬面接の実施により、ほぼ全員の進路が決定した(進路未定の1名は来年度公務員試験受験予定)。 ○ゼミ卒業生との交流会を開催し、現役ゼミ生の進路意識を高めることができた。交流会は今後も継続して実施したいと考えている。 	
	0.00		0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。			<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		桑原 和典	所 属	観光産業科学部	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.25	①学生の意見を反映させた講義の実施(実務レベルへの関心等) ②講義後の学生との意見交換(質問や要望等) ③FDの実施		0.25	①理論と現実を融合すべく、株価等の市場データを活用し、ファイナンス論の理解度を向上させたと考えられる。 ②講義終了後やオフィスアワーを設けることで意見交換を実現させた。 ③FDに関しては、各種委員会のFDに参加している。	
研究	0.35	①基礎科学研究の推進 ②学内紀要への投稿(「観光産業における財務戦略」) ③各学会(日本経営学会、日本ファイナンス学会、日本財務管理学会、アジア経営学会等)への参加および発表		0.35	①基礎科学研究として、2000年以降の株価データの収集を実施している。 ②紀要に関しては、琉球大学「経済研究」に投稿済 ③今年度は、各種学会への参加のみである。	
社会貢献	0.10	①各企業(金融、メーカー等)に対するアカウンティングおよびファイナンスに関する企業研修を実施予定 ②公開講義の実施 ③教員免許講習の講義実施		0.10	①各企業に対して、研修を実施し、公認会計士の補修所においてもファイナンスの研修を行う。 ②昼間主および夜間主で、前後期において公開授業を実施している。 ③IFRSに関する教員免許講習を実施	
管理運営	0.10	①教育委員として、学科・学部の学生に対して学習できる環境を促進 ②産業経営学科において、さまざまな入試の監督や作問を担当予定 ③学科会議への積極的参加や意見交換により会議を活性化		0.10	①委員会に参加し、情報関連の現状について認識している。 ②小論文作成や試験監督等を実施している。 ③私的な諸事情のため、会議への参加が若干少ないようである。	
進路指導	0.20	①担当ゼミナールにおける学生への指導 ②日本経済新聞社主催の「日経ストックリーグ」への参加を通じた学生への指導 ③担当学年(3年生)との意見交換(メールや研究室等)		0.20	①学問についてはもちろん、就職支援(SPI等の実施)等も行っている。 ②本年度は、4チーム参加し、3チームが入選する。 ③就職関連の問い合わせ件数が多く寄せられ、就職センターへの橋渡し等を行っている。	
	0.00			0.00		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		桑原浩.	所 属		観光産業科学部 産業経営学科	職 名		准教授				
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果						
教育	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・科目「観光マーケティング論」の教材の改善と一部Webclass化 ・科目「Global Marketing Basics」のための教材開発 ・担当2年次生及びゼミ生の学習達成度に関する指導(全員GPA2.0以上を目標とする) 			0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・科目「観光マーケティング論」の全8課題中、7つを改良して、その提示と提出をWebclass化した。 ・科目「Global Marketing Basics」について、これまで提供していた講義ノート加えて、それを補完する講義スライドを作成しWebclassで提供した。 ・担当2年次生及びゼミ生の学習達成度に関する指導を対象者全員に行ったが、GPA2.0以下の学生をなくすまでには至らなかった。 						
研究	0.40	研究の種類: 応用的研究、実践的研究 研究テーマ: 東南アジアにおける観光マネジメント <ul style="list-style-type: none"> ・科学研究費補助金に基づく研究「後発開発途上国ラオスにおけるプロプアツーリズムのための人的資源管理」を継続して展開し、成果の一部を国内学会にて発表 ・観光マネジメント分野でメコン圏研究者との研究交流 			0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・科学研究費補助金に基づく研究「後発開発途上国ラオスにおけるプロプアツーリズムのための人的資源管理」に関して、成果の一部を日本観光学会第104回全国大会にて発表した。また、本年度3月に継続して現地調査を実施する予定である。 ・8月にタイMae Fah Luang Univの観光分野教員との意見交換を行った。 						
社会貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・科目「観光マーケティング論」の公開授業の実施 ・メコン圏内の大学において学生を対象とした講演 			0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・科目「観光マーケティング論」の公開授業を実施した。 ・タイMae Fah Luang Univでの講演を計画したが、相手先大学との調整がつかず実施できなかった。 						
管理運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・「全学情報システム運用委員会」への積極的参加 ・「総合情報処理センター専門委員会」への積極的参加 ・「紀要委員会」への積極的参加 ・「動物実験委員会」への積極的参加 			0.10	年度内に開催された担当委員会および関連の研修会には、所用にて欠席した1回を除き、すべて出席した。						
進路指導	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・3年次及び4年次ゼミ学生への個別進路指導(各学期の開始時及び随時) 			0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・3年次及び4年次ゼミ学生への個別進路指導(各学期の開始時及び随時)を実施した。 						
	0.00				0.00							
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 						
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。				<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)						
名 前	多賀寿史		所 属	観光産業科学部 産業経営学科		
職 名	准教授					
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.30	○会計学原理1・2の講義をwebclassを効率的に活用しながら学習効果のUPを図る。そしてパワーポイントを活用した講義を実施する。 ○簿記原理1の講義をwebclassを効率的に活用しながら学習効果のUPを図るそしてパワーポイントを活用した講義を実施する ○経営学演習1での企業分析教材の開発と演習指導 ○経営学演習Ⅱでの卒論指導 ○大学院の指導 ○e-learningによる日商簿記2級講座の解説と教材の改訂		0.30	○会計学原理の講義、パワーポイントを用いて、時折図を効果的に用いて講義を行った。○簿記原理の講義については、パワーポイントを用いて、時折図を効果的に用いて講義を行った。オリジナルの復習問題を配布して理解してもらうように努めた。○経営学演習Ⅰについては前期会計学・後期財務分析についてテキストの輪読・計算・討論を通じて理解してもらうように努めた。夏休み京大とのジョイントゼミを行い、学生に刺激になるような場を設けた。経営学演習Ⅱでは、経営学演習Ⅰで学んだことに、経営戦略の基本書を輪読し、今年はポーターの戦略論の枠組みを用いて、経営戦略について深めてもらい、経営戦略とその評価としての財務分析を統合した企業分析論文を作成してもらい卒論集を作成した。○大学院については、社会に役立つ会計という観点からテキストの輪読と討論をおこなった	
研究	0.30	○多賀の研究課題である「公正価値測定の意義と課題(基礎科学研究)」を深める。具体的には、6月締切の学部紀要の執筆と10月締切の学部紀要の執筆 ○科学研究費補助金申請を行う(科研Cで) ○6月に実施される研究会及びワークショップで研究報告を行う。そして各種学会に積極的に参加して自分の研究テーマに関する意見を広く求める。 ○日本会計研究学会の九州部会報告で報告できるように準備を進める(来年3月)		0.20	○今回「公正価値測定の意義と課題」(基礎科学研究)について文献を読んでいろいろと整理して論点を検討してきたが、方法論その他もろもろの点で定まらず、また、研究会等でもいろいろとい指摘されたため、現在そのことを検討しており論文としてまとめることができなかった。これは私の能力の問題であり、来年度は必ず解決すべく精進していきたい。○九州部会報告の申込みが2月20日であったが、上記理由から最終的に見送った。	
社会貢献	0.10	○公開講座として、会計学原理1, 2、簿記原理1を提供する。 ○沖縄国際大の非常勤として『簿記原理1』を月2限、木1限前期教えに行く。		0.15	○公開講座として会計学原理1, 2、簿記原理1を提供した。受講生も若干名だがいた。○沖縄国際大学で非常勤として簿記原理の講義の仕事をしっかりこなしてきた。	
管理運営	0.10	○産業経営学科、大学学部の委員の割り当てられた仕事をこなしていく。○2年次の学生の履修指導を的確に行う。 ○1年次指導教員としての的確に指導を行っていく。		0.15	○今回与えられた学科の仕事はしっかりと行った。○2年次の学生の履修指導、前期・後期ともに行き、学生に適切な指導を行うように心がけた。○1年次指導教員として、オリエンテーション等をしっかりと行った。	
進路指導	0.20	○3年ゼミ生に対して、各人の希望の進路に向けた指導を定期的に行		0.20	○3年次ゼミ生に対しては、逐次就職や進路相談に乗るなどして指導を行った。○4年次のゼミ生に対しては、相談に乗るなどして、3名中、2名は就職が決まり1名は公務員浪人することとなった。	
	0.00			0.00		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		野口 浩	所 属		観光産業科学部 産業経営学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	1.大学院2年ゼミ生3人の修士論文を完成させる。 2.学部のゼミ及び講義も前年度と同様に真剣に力を注ぐ			0.25	1.大学院2年ゼミ生3人は、無事に、修士論文を完成させた。 2.学部のゼミ及び講義も、真剣に力を注ぐことができ、ゼミ生から多数の税理士科目合格者を排出することができた。		
研究	0.50	1.博士論文を12月末までに提出する。 2.博士論文を構成する論文を2本公表する。1本は『琉球大学経済研究』に、もう1本は雑誌『会計』からの公刊を目指す。 3.論文に関する報告を日本税法学会で行う。			0.50	1.博士論文を、12月12日に提出することができた。 2.博士論文を構成する論文を、『琉球大学経済研究』および『会計』から、2本公刊することができた。 3.論文に関する報告を、日本税法学会と九州公法判例研究会にて報告した。		
社会貢献	0.05	学部の講義を、可能な限り、琉球大学の公開講座に登録する。			0.05	ゼミにおいて、可能な限り、聴講生を受け入れた。		
管理運営	0.10	1.学科、学部および大学の仕事をしっかりとこなす。 2.会計サークルの顧問としての職責を果たす。			0.10	1.学科、学部および大学の仕事をしっかりとこなした。 2.会計サークルから、税理士科目合格者を多数輩出した。		
進路指導	0.05	1.学会等を通じて、沖縄の会計事務所との関係を深める。 2.関東の有力企業とのパイプの構築に引き続き励む。			0.10	1.沖縄の会計事務所との関係を深めた。特に、世界屈指の会計事務所の1つである、EY税理士法人との関係が深まり、2人の大学院生と1人の学部ゼミ生が、そこに就職できたことは大きな成果であった。 2.関東の有力企業とのパイプの構築に引き続き励んだ。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	井川浩輔		所 属	観光産業科学部 産業経営学科	
職 名	准教授				
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定	業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.20	人的資源管理論基礎において実施している受講生同士のディスカッションをさらに機能させるために、本年度は新たに①「360度評価」に関する理論的実践的講義を追加し、②その「360度評価」を実際に学生の成績にも連動させる仕組みを構築する。	0.30	①人的資源管理論基礎において、新たに受講生に「360度評価」を経験させ、人事評価に関する実践的な理解を深めるとともに、受講生同士のディスカッションを促進するサポートを実現した。②「かりゆし観光人材育成基金海外派遣プログラム」に引率教員として参加し、事前事後学習(フィールドワークや報告資料作成等)もサポートした。③留学生を研究生として受け入れ研究指導を行った。	
研究	0.30	現在、人的資源管理に関する科研費を研究代表者・分担者として獲得している。①研究分担者分の科研費が最終年度であるため、海外の学会に参加し最新の研究成果を収集し新たな科研費の獲得につける。②研究代表者を務める科研費の調査を新たに実施してデータを収集する。	0.30	①アメリカ心理学会に参加し、最新の研究成果を収集し、分担者として新たに科研費の申請を行った。②研究代表者(継続中)として科研費に関する調査を実施し、人事担当者等からデータを収集し、その分析を行った。③「人事評価制度の導入効果の測定」(書籍第10章)と「ブレイン・マネジャーの実態分析(1)」(ディスカッション・ペーパー)を執筆した(それぞれ基礎科学研究)。	
社会貢献	0.10	①ナレッジワーカーを対象とした人的資源管理に関する研修をボランティアで実施する。②人事担当者を対象とした勉強会をボランティアで開催して、人的資源管理に関する最新の研究動向を紹介する。	0.20	①ナレッジワーカーを対象とした人的資源管理に関する研修の教材を新たに開発した。②人事担当者等を対象とした研修を実施し、人的資源管理に関する最新の理論を紹介するとともに、実務家と情報交換を行った。③琉球大学において、修学旅行生(高校生)を対象とした「経営おもしろ講座」を2回実施した。	
管理運営	0.20	①研究推進戦略会議の研究企画員(継続)として、新たに長期研修の仕組みについての提案を行う。②教員免許更新講習実施委員会の委員(継続)として、また、③営利企業兼業審査委員会の委員(継続)として、それぞれの委員会に参加し情報収集と情報発信を行う。	0.10	①研究推進戦略会議の研究企画員(継続)として、長期研修に関する情報収集を行った。②また、同会議において、新たに「公的研究費使用ハンドブック ワーキング委員」として、ワーキングに参加しハンドブックの作成を行った。③教員免許更新講習実施委員会の委員(継続)として、また、④営利企業兼業審査委員会の委員(継続)として、それぞれの委員会に参加し情報収集等を行った。	
進路指導	0.20	①経営学演習Ⅰの講義において、進路の決定時期を早めるため、新たに受講生全員が毎回必ず発表する授業を開発し自己分析を促進する。②4年次学生を対象に、深夜や週末(土・日曜日)におけるキャリア・サポートの機会を充実させるため、電子メールを積極的に活用する。	0.10	①経営学演習Ⅰの講義において、受講生(ゼミ生)ができるだけ多くのプレゼンテーションを経験できるような自己分析授業を新たに開発した。②経営学演習のゼミ生に対して、電子メールを活用したキャリア・サポート(履歴書やエントリーシートのチェック等)を実施した。③業界・企業分析を希望するゼミ生に対して、ゼミのOBやOGとキャリアに関する相談を可能にする情報交換会を開催した。	
	0.00		0.00		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。			<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		宮国薫子	所 属		観光産業科学部 産業経営学科
職 名		講師			
領域	業務ウエイト比(予定)	平成25年度 年度目標設定		業務ウエイト比(実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.30	1. 今年の前年から受け持つ「マーケティング概論」の授業を充実させる 2. 「経営学演習Ⅰ・Ⅱ」の指導方法を、改善する。		0.30	1. 今年度前期から「マーケティング概論」の授業を行った。人数が多いので、準備等に時間をかけて、講義をおもしろくするよう、心がけた。教材研究にもう少し、時間をかけるべきだと感じた。 2. 「経営学演習Ⅰ/Ⅱ」を合同で、週にニコマ行った。ミシガン州立大学の留学生とコスタリカ出身の大学院生、観光学科の教員が加わり、ゼミが活性化した。 3. 通常のゼミの中で卒論の中間発表を2回行い、学生の卒論提出を促すことができた。学科卒論発表会で学生が発表するなど、卒論の指導方法を改善することができた。 4. 琉球学称号過程のオムニバス授業(琉球学入門)を担当した。
研究	0.30	1. ポスタープレゼンテーションを行う 2. 科研に応募する 3. 「西表島住民の観光に対する意向調査」についての論文を投稿する		0.25	1. 4月9日にNERR(North East Recreation Research Symposium)において、「島嶼観光地住民の観光に関する意向調査について—西表島の事例」についてポスタープレゼンテーションを行った。 題名: "Residents' Attitudes toward Tourism Development. The case of Iriomote Island, Japan" co-authored with Gail Vander Stoep 2. 科研に応募できなかった。 3. 「西表島住民の観光に対する意向調査」の論文については、執筆中。 4. SATREPS: Science and Technology Research Partnership for Sustainable Development (地球規模課題対応国際協力プロジェクト-パラオ共和国) 4-1. 2013年9月に、パラオ共和国PICRC (パラオ国際サンゴ礁センター)で研究計画に関する発表を行った。 4-2. 2013年10月のMarine Productivity: Perturbation and Resilience of Socio-Eco systemsの学会において研究グループで発表し論文が掲載された。 "The role of mangrove forest ecosystem services in the transportation of organic materials to coral reefs: A case study of MPA management in Palau (by Makoto Tsuchiya, Izumi Mimura, Yuka Yano, Noelle W. Oldiais, Yimnang Golbuu, Yoko Fujita and Kaoruko Miyakuni)" 4-3. 2013年12月、日本サンゴ礁学会にて「パラオ共和国におけるSATREPSプロジェクト"P-CORIE"」のポスタープレゼンテーションを研究グループで行った。 4-4. 2014年3月にパラオ国際サンゴ礁センターにおいて、2014年度研究計画についての発表を行う。
社会貢献	0.20	1. 沖縄県の指定管理制度委員会を通して、沖縄のMICE推進に寄与する 2. 那覇市の都市計画委員会の委員を務め、那覇市の都市計画に貢献する。 3. SATREPS (地球規模課題対応国際協力「サンゴ礁生態系における気候変動に対する対策—パラオ共和国)を通して、研究成果を広く社会に還元する。		0.15	1. 県の指定管理制度委員としての職務を果たした。 2. 那覇市の都市計画委員会の委員として職務を果たした。 3. 第16回沖縄県高等学校生と商業研究発表会で審査委員を務めた。(7月) 4. SATREPSパラオにおいて、研究計画を発表し、観光関係者とのインタビューを行い、ワークショップ等の会合を通して地元の人々と交流を深める(8月・9月・3月)。
管理運営	0.10	1. ハラスメントイン相談員、ハラスメント防止委員会委員、ハラスメント調査委員として職務を果たす。 2. 学部内広報委員として役目を果たす。		0.15	1. ハラスメント防止委員会委員として職務を果たした。 2. ハラスメント調査委員として事情徴収や記録等の職務を果たした。 2. 学部内広報委員として、オープンキャンパス用の学科パンフレットを作成した。
進路指導	0.10	経営学演習Ⅱ(10名)の学生の進路を適切に指導する。		0.15	1. 経営学演習ⅠとⅡの学生に対して、前期・後期の授業後に、個人面談を行い休みの過ごし方、勉強や就職活動の進め方について確認した。 2. 経営学演習Ⅱにおいては、ジモス、ダイソー、警察官、メディコ等の就職が決まった。残るは、大学院入学(結果待ち)と公務員志望、一般企業志望の学生(2人)の行く先をフォローしたい。
	0.00			0.00	山形大学の先生方と「大学と地域の連携」について意見交換した。(1月)
計	1.00	・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。

※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。

学外公表に同意しない。 学内公表に同意しない。